

市議会だより



令和元年度 議会活動報告会

● 5月臨時会の概要 ●

令和元年第2回臨時会は5月10日に召集され、副議長選挙や特別委員会が設置されました。

また、市長提出議案5件、報告案件2件の審査を行い、その結果、議案5件中、4件を承認、1件を同意としました。

● 6月定例会の概要 ●

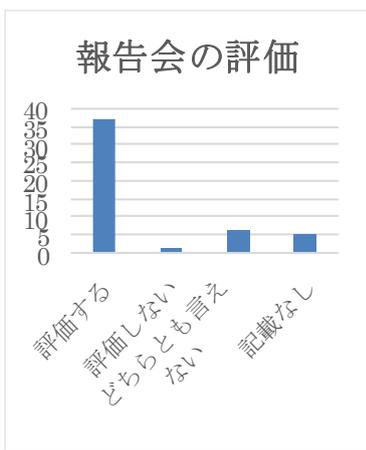
令和元年第3回定例会は6月14日に召集。7月3日までの会期で、市長提出議案13件、議員提出議案2件、報告案件1件、請願1件について審査を行いました。その結果、市長提出議案はいずれも原案可決、議員提出議案についても原案可決としました。また、請願1件については採択としました。

主な掲載内容

- ◎ 議会活動報告会・・・P 2～3
- ◎ 一般質問・・・P 4～8
- ◎ 議案審議結果・・・P 9
- ◎ 委員会審査報告・・・P 10～12
- ◎ 請願の審査結果・・・P 12

令和元年度 議会活動報告会を開催

西都市議会では、令和元年5月28日（火）にコミュニティセンター3階にて議会活動報告会を開催しました。開催にあたり中武邦美議長より「議会は、これからも市民に信頼される議会、より身近な議会の実現を目指し、議会活性化に向けた歩みを更に進めていく」などの挨拶がありました。また議長から議会の仕組みについても説明があり、その後3常任委員会と3特別委員会の報告を各委員長が行い、質疑・応答を行いました。また会場ではアンケートも行い議会活動報告会に対する評価や、意見を頂きました。



常任委員会の報告

総務常任委員会

総務常任委員長（岩切一夫）は、市の財政状況とふるさと納税の概要について報告しました。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員長（兼松道男）は、西都市手話言語条例の制定・西都市空き家等対策の推進に関する条例の制定・地方独立行政法人「西都児湯医療センター」の新病院建設に係る陳情について報告しました。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員長（橋口登志郎）は、国県道の総合的な整備促進、特に219号の整備のため「三市町村議会国道整備」について活動報告しました。

特別委員会の報告

新田原基地対策調査特別委員会

新田原基地対策調査特別委員長（井上司）は、平成30年度防衛省・九州防衛局への要望活動・西都地区建築業協会並びに防音工事協会との意見交換会などを報告しました。

救急医療対策調査特別委員会

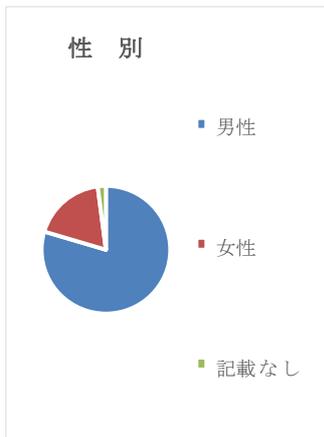
救急医療対策調査特別委員長（狩野保夫）は、地方独立行政法人西都児湯医療センターの新病院施設整備計画については、4月11日に市長から、市として建設予定地を決定したこと、5月中に病院事業債の申請書が提出されること等、経緯について報告しました。

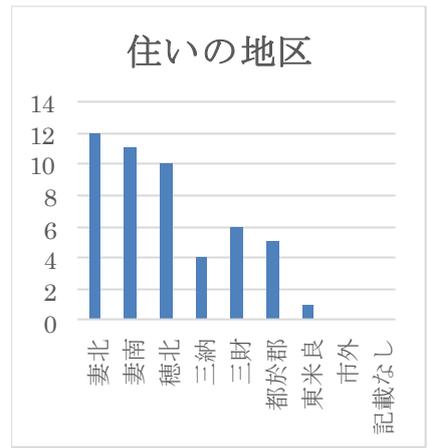
新庁舎建設調査特別委員会

新庁舎建設調査特別委員長（荒川昭英）は、新庁舎は、これまでの経過と令和3年の完成に向けての進捗状況を報告しました。

アンケート調査結果

ここからは、その時のアンケート結果や皆様から出された意見要望について報告します。問①性別・問②年代・問③参加回数・問④住まいの地区・問⑤開催をどのように知ったか・問⑥報告会の内容について・問⑦報告会の評価について、の7項目に答えていただきました。





今回は、前回の参加者28名に対して50名の参加者があり、多くの意見要望が出され、予定していた時間も大幅に過ぎてしまう程の盛況ぶりでした。

主な質疑応答

問 新病院の建設場所が色々と掲載されているが、最終的にはどこが選ばれたのか？

答 場所の選定については、8ヶ所の候補地があったが、関係課長による庁内協議や地元医師会と医療センターとの三者協議を行って現医療センター周辺に決定された。
問 市長が市民に具体的に説明するように議会から申し入れて欲しい。



答 市民への説明については、病院事業債を国が認めたら説明したいといっている。議会からも説明責任をしっかりと果たすように意見が出された。

問 新庁舎のことは、工程とか、免震構造とかは理解する、建設費のこととか、内部の構造とかの説明があってもいいのでは？

答 市のお知らせには掲載しましたが、解体費含めて、全体事業費としては約50億円である。先程の新病院建設と同じように市民への説明責任をしっかりと果たすように議会からお願いしていく。

問 九州防衛局に8項目の要望書を出したというが、その答えが今回の資料には載っていない。

答 今後は気を付けていきたい。
問 総務常任委員会の報告「市長が認める事業」とあるが、例えばどんなものがあるのか。

答 西都アピール事業・PR映像作成委託・移住者定住促進事業・子育て世帯住宅取得助成金等の補助・スポーツランド推進事業等様々な事業を認めている。

問 次世代を担う西都の子どもたちのために学校のトイレの洋式化を進めて欲しい。

答 当局に対して、要請していく。
要望 今後増々買い物難民が増えると思いますが、見落としがちな市街地も考えて欲しい。

要望 今回は、説明資料をうまく整理して、説明中にメモができるような資料にしてもらいたい。

その他 読み聞かせボランティアのこと、医療費・国保税・後期高齢者医療制度のこと、地籍調査・森林環境税のこと、介護支援のことなど多くの意見要望がありました。

中でも今回の報告会で指摘された資料の自身については、今後の課題として、しっかりと吟味していきたいと思えます。



沢山のご意見・ご要望ありがとうございました。次回も多くの参加をお待ちしております。

西都市の未来戦略、教育諸問題について、新病院建設について



新緑会
橋口登志郎

問① 市内中学校を一校に統合する提言について伺いたい。

答 7月開催の西都市学校再編調査検討委員会において中学校の適正規模、教育環境の確保等を念頭に意見を伺っていききたい。

問② 自転車交通安全で自転車通行人レーン整備について伺いたい。

答 宮崎佐土原西都自動車道間での通行帯の整備を予定している。

問③ 児童のヘルメット購入補助を行っている自治体があるが西都市の考えを伺いたい。

答 先進地の事例を研究したい。

問④ 市職員が率先して自転車通勤すると自転車の町のアピールにつながると思うが考えを伺いたい。

答 自転車通勤する市職員が率先して交通ルールやマナーを厳守することで、自転車利用の環境のイメージアップがあると考える。

問⑤ 再犯防止取組みを伺いたい。答 保護司会と連携し活動している、社会を明るくする運動では保

護司会、行政、関係団体そして地元高校生と啓発活動を行っている。

問⑥ 更生保護サポートセンターの場所、及び県の宮崎県再犯防止推進計画検討協議会へオブザーバー参加について伺いたい。

答 新庁舎建設後の場所については保護司会と相談し決めていきたい、再犯防止推進計画検討協議会には可能な限り参加していききたい。

問⑦ 子ども会について伺いたい。答 児童の健全育成に寄与している、子ども会指導者、学校、PTA、行政の連携が必要だと考える。

問⑧ 教員の働き方改革について西都市の取組みを伺いたい。

答 西都市の実情に合った改革をPTA役員、保護者共通理解を図りながら連携して行いたい。

問⑨ 新病院建設進捗状況の市民へ報告がないが、病院債の本申請が終わった今、直ちに行うべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

答 用地交渉の感触を得ることができた市民に報告したい。

問⑩ 新病院場所に市民が「NO!」なら変更は可能か、また新病院について、医療センターの先生方と協議しているのか伺いたい。答 理解が得られるよう最大限努力したい、センターの先生方との協議はこれまで行ってきた。

防災減災及び防犯対策について



公明党
曾我部貴博

問① 子どもを預かる学校として一人でも多くの防災士や、救急救命の資格をもった教職員が増え、率先して命を守る指導に当たることが大事と考えるが見解を伺いたい。

答 学校において防災に係る研修会に職員を派遣し、救急救命法を身に付ける研修等を実施するなど、教職員の防災知識、技能の向上に努めることは重要と考える。

問② 6月13日に妻南小学校で実施された避難訓練に地元防災士も参加したが、このような合同の防災訓練について見解を伺いたい。

答 学校における避難訓練は防災計画に沿って教職員が企画・運営を行うが、すべての教職員が防災の専門的な知識を有している状況ではない。専門的な指導助言等をいただくことで、より実効性のある教育活動となり、児童生徒にも有効な学びをもたらすものと考え

問③ 子ども達の命を守り、犯罪の抑止や被害の拡大を防ぐ意味でも、市内の全小中学校に防犯カメラを設置してはどうか。

答 警備会社との委託契約を中心に、校舎内への不審者の侵入を防ぎ、侵入があった場合は速やかに対応し安全を確保することに力を注いでいるが、防犯カメラの設置に関する研究も行って参りたい。

問④ 学校給食民間委託事業者と、災害時における避難所等運営への協定を結ぶことで、避難者への食事の提供が必要となったときに、必要な人員の確保に努め、給食センターの調理設備を使用し、材料の調達・調理・食事の提供ができる。本市も実施に向け検討を進めてみてはどうか。

答 今後、現在の施設においてどのような業務が可能か、調査・研究を行いたい。

問⑤ 本市の防災備蓄に粉ミルクや哺乳ボトルが常備されているが、発災後はライフラインが遮断されるとお湯が沸かせない。乳児への授乳用として液体ミルクの備蓄を検討してはどうか。

答 液体ミルクの有効性は十分認識している。指針見直しを含めて、今後の推移を見守りたい。

キャリア教育、公立保育所再編、
農林行政について



西興会
北岡 四郎

問① キャリア教育支援センターを設置すべきと考えるが市長の見解を伺いたい。

答 関係機関と研究を進めている。

問② この事業には、地方創生推進交付金が活用できないのか伺いたい。

答 地方再生計画を策定し国の認定を受けることで活用できる。

問③ 公立保育所再編について平成31年4月1日における公立保育所の定員数、入所児童数及び職員数を伺いたい。

答 杉安保育所、定員45名中児童数11名、職員数5名、都於郡保育所、60名中児童数20名、職員数6名、山田保育所、45名中児童数6名、職員数6名、三財保育所、45名中児童数20名、職員数7名、上三財保育所、45名中児童数9名、職員数6名である。

問④ 過去5年間の出生者数について伺いたい。

答 平成26年212人、平成27年216人、平成28年177人、平成

29年220人、平成30年189人である。

問⑤ (1)全保育所児童数66人、職員数30人、約2人の児童数に対して職員1人配置である。(2)適正な規模による集団保育の重要性、行財政改革大綱にある効率的効果的保育所の管理運営。(3)発達障がい児等対策など公立保育所の役割、現状と照らし合わせてみると待ったなしの時期に来ている。一カ所に集約すべきと考えるが見解を伺いたい。

答 再編検討委員会の報告に従いたい。再編検討委員会のある児童にも配慮しながら対応したい。

問⑥ 農林行政について、台風等に強いハウスとして少なくともA Pハウス2号改良型に建て替える必要がある。国の制度事業に市とJAで5%程度の補助制度は考えられないか伺いたい。

答 補助事業のあり方について調査研究してまいりたい。

問⑦ TPP11、日欧EPA等の影響対策の一つとして、作物の反収を上げるために生産技術の向上が必要である。仮称農民塾を年間12回程度、4年を1周期として開催してはどうか伺いたい。

答 県やJAなど関係団体と共に調査・研究を進めてまいりたい。

市内小中学校トイレの洋式化と
平和学習について



新風会
兼松 道男

問① 市内にある12箇所の小中学校の洋式トイレの普及率について伺いたい。

答 多目的トイレも含み、合計で401個の大便秘器が設置されており、そのうち132個が洋式トイレであり、洋式率は32.9%となっている。

問② 市内小中学校の施設整備とトイレの洋式化に向けた今後の取り組みについて伺いたい。

答 校舎等の老朽化対策や今後の維持管理のあり方等が大きな課題となっており、トイレの洋式化についても今後検討すべき課題の一つであること認識している。本年度「西都市公共施設等総合管理計画」に基づく個別計画を策定する予定にしているため、その計画に基づく施設の長寿命対策と併せて検討していきたい。

問③ 戦争体験者による語り部事業は若い世代に平和の大切さを考えて貰おうと宮崎県が2015年度から県遺族連合会に委託して行っている。今年度は21校で実施する予定。西都市の取組み状況について伺いたい。

答 市内小中学校においては、その発達段階に応じて様々な形態で平和学習を実施している。各種教科や道徳における関連指導としての平和学習はもちろんだが、戦争体験者や遺族の方から、戦争の悲惨さや平和への願いを直接聞き、平和についての自分なりの思いを醸成する狙いで体験活動としての平和学習も実施している。戦後、平和な時代が続き、実体験として戦争について語ることでできる方が少なくなっており、当事者から直接話を聞く場は、貴重な学習の機会ととらえている。今後も学校が工夫を凝らしながら平和学習を実施することについて教育委員会としても支援したいと考えている。

問④ 市内小中学校における平和学習には、具体的にどのようなものがあるか伺いたい。

答 修学旅行における「知覧特攻平和会館」での「戦争の悲惨さと平和の大切さについて」の学習などがある。

伊東マンショ関連事業と、姉妹都市交流について



新緑会
村上 修乗

問① 今年の2月12日、都於郡地域づくり協議会の事業で、伊東マンショの漫画を発行され、完成報告のため市長へ表敬訪問された。この漫画と連携して、もっと情報発信が出来るのではと考えるが、市長の考えを伺いたい。

答 都於郡地域づくり協議会では、天正遣欧少年使節、伊東マンショの人生、功績を広めるために、今年1月に漫画本を完成させ、県内の図書館、小中学校、高等学校にも寄贈している。また、書店でも店頭販売され、今後電子書籍としての配信も計画されていると伺っている。この漫画本完成については、今年3月に市の広報誌でも紹介をしたところである。これから、都於郡地域づくり協議会の取り組みを支援し、伊東マンショへの理解、認知度を深める情報発信に努めていきたい。

問② 昨年7月30日に台湾宜蘭縣羅東鎮と姉妹都市を締結した。

本年度の羅東鎮と長崎県西海市との交流について、どのような計画を立てているのか伺いたい。

答 本年度の羅東鎮については、市民間の交流を推進するため、補助事業を創設し、市民団体の方に「藝穂節(げいほせつ)」に参加していただく予定である。また、教育・スポーツ交流として、本市野球少年団が羅東鎮を訪問し、羅東鎮の野球少年団との親善交流試合を行うこととしている。西海市については、本市から「西海大鍋まつり」に参加するとともに、「西海市からは「ふるさと産業まつり」に参加していただき、イベントを通じて相互交流を図っていく。

問③ 羅東鎮の方々にも西都市にお越し頂き、西都市の様々なイベント、行事に参加してもらい、更なる交流を深めて頂きたいと思うが、市長はどの様に考えているか伺いたい。

答 羅東鎮との関係を発展させていく上には、一方通行の交流ではなく、相互交流が不可欠であると思う。是非、多くの羅東鎮の方々にも本市に来て頂きたいと思うので、今後、羅東鎮公所等に働きかけていきたい。

都於郡城跡の観光振興とガイドンスセンターについて



令和の会
黒木 吉彦

問① 都於郡城跡に対して、観光振興の取組みについて伺いたい。

答 都於郡城跡については、一般社団法人西都市観光協会の総合パンフレット等に掲載するなどしてPRに努めている。また、訪れた観光客は、スマートフォンアプリ「さいとココなび」を利用すると城跡の紹介動画が視聴できるようになっている。

問② 都於郡城跡のPRは、まだ不十分と感じている。今後のPRの取組みについて伺いたい。

答 今後も西都原古墳群と同様に、本市の魅力ある観光資源としてPRをしていく。また、パンフレット等の改訂に合わせて、効果的な情報発信が出来るよう見直しを図っていく。

問③ 西都原から都於郡城跡へ誘導する仕掛けや、他の文化遺産と連携して、観光客を誘導するPRは出来ないか伺いたい。

答 昨年度は、「木喰上人誕生300年記念事業」においてスタンプリアリーを開催した。同じように市内の文化遺産を回るスタンプリアリーを開催すれば他の文化遺産と連携しつつ都於郡城跡に観光客を誘導することも出来ると考えている。この他に、自転車による文化遺産を巡るサイクリングルートの構築等の取組みも考えている。

問④ 都於郡城跡は、文化遺産としての価値と、西都市の観光資源の一つとして、存在感を高め観光振興に繋げる必要があると思っいる。行政としての取組みを伺いたい。

答 都於郡城跡は、地元の方々によって受継がれてきた貴重な文化遺産であると考えている。文化財保護については社会教育課、観光振興は商工観光課がそれぞれ担当して、地元と連携しながら観光振興に必要な支援をしたいと考えている。

問⑤ 都於郡ガイドンスセンター建設について進捗状況を伺いたい。

答 建設にあたっては、財政的なことも含め、西都市民、地元住民に納得が得られる施設になるよう慎重、丁寧に見直し検討を進め、出来るだけ早い段階で見直し案を提示出来るように取り組んでいる。

安心して暮らせる活力ある西都
市づくり



創生会
米良 弥

問① 西都児湯医療センター新病院建設予定地は妻地区（現医療センター周辺地域）に決定したとのことだが、決定に至るプロセスと決定の一番大きな理由、関係者との合意状況及び今後のスケジュールについて伺いたい。

答 基本構想懇話会の意見を踏まえ、庁内協議や市と地元医師会、医療センターとの三者協議などで議論を重ね、医療センター等関係者の合意を得て庁議で決定した。決定した一番の理由は現医療センター場所が利用者に広く認知されており、市民の利便性が確保できることである。今後は地権者の同意を得て各種手続きや計画策定を行い、令和4年度末の開院を目指すことにしている。また、土地取得の感触を得ながら出来るだけ早急に市民への説明報告会を開催したい。

問② 西都まちづくり協議会の活動内容とコンパクトシティへの再

編整備への考え方を伺いたい。

答 西都まちづくり協議会は各商店会やNPO、JA等13団体で構成し、まちづくり計画や推進組織の構築に取り組む。少子高齢化、人口減少が進む中では、市街地の拡散傾向を防ぎ、市民サービスを維持し、市民が利用しやすいコンパクトシティへの取組みは検討する必要がある。まちづくり協議会で研究していく。

問③ これまでの企業誘致実績とこれからの対策について伺いたい。

答 平成25年度末〜31年4月までに企業数9社、従業員数426名の増加となっている。これからは本市の優位性をアピールできる食品関連企業等の誘致に三納を初めとする周辺地域も含めて取り組んでいく。

問④ 市内小中学校の洋式トイレの設置状況と高齢者や障がい者の利用増加等に対応するためのバリアフリー化の状況、今後の取組みについて伺いたい。

答 市内小中学校の洋式トイレの平均設置率は約33%となっている。バリアフリー化も未整備のところが多い。重要な課題と認識している。今後は本年度策定予定の整備計画に基づき施設の長寿命化と合わせて検討していく。

農業振興、西都児湯医療センター
について



新緑会
岩切 一夫

問① 昨年の台風による農業被害に対して、台風後の対策は、どういったことが反省となり、今後どのような対応、対策をとったら農家の方々を落胆させずにすむのか伺いたい。

答 早期復旧に向け、県、JAの協力を得て、被災状況、再建要望を行ったが、情報提供が行き届かなかったり、情報が錯綜して、混乱が生じた。今後はハウス補強に向けた取組みと再建等の支援及び営農継続への支援が十分出来るように取り組む。

問② スマート農業の実現化に向けて市は今後どのように取り組むのか伺いたい。

答 新農業戦略でドローンなど新技術導入の共同購入に対して補助を行っていく。併せて国、県の補助事業を活用し推進に取り組みたい。

問③ 西都児湯医療センターの新病院建設事業費41億7000万円、算出根拠、内容を伺いたい。

答 施設整備費27億1700万

円、医療機器整備費が6億円、用地費が8億5300万円、合計41億7000万円となっている。延床面積は災害拠点病院となっている平均値を参考に7700㎡とし建設単価は全国自治体病院建設実績平均単価である。

問④ 用地費等が8億5300万円の内訳を伺いたい。

答 造成費が3億6500万円、解体費が約2億8700万円、外構費が2億円である。

問⑤ 平成30年11月の基本計画（案）では土地取得費3億300万円、外構費として2億円だったが、この8億5300万円については議会に報告はあったのか伺いたい。

答 議会への報告は行っていない。

問⑥ 大型家電店を建設するとき地盤が軟弱で通常より杭を深く打ったと聞くが建設予定地の地盤は大丈夫なのか伺いたい。

答 地質調査をしなければ分からないが地盤が軟弱とは考えていない。

問⑦ 用地取得費が高額で想定外の経費を超えたらどうされるのか伺いたい。

答 現段階においては、事業費41億7000万円は超えない。



日本共産党 狩野 保夫

問① 新病院建設計画について。

イ 建設予定地（現西都児湯医療センター周辺）決定に対する基本姿勢と選定の理由を伺いたい。

答 急速な人口減少や高齢化が進展していく中で高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境を整備し、併せて本市の財政及び地域経済が引き続き持続し、発展していくためには、その核となる公的な施設を郊外に分散させるよりも集約させる方が効率的であると考えたところである。用地選定の理由は▼現在の医療センターの場所は利用者に広く認知されていること▼近くに基幹道路がありアクセスが良く利便性に優れていること▼自衛隊新田原基地の滑走路延長線上の地域から離れおりジェット機の騒音被害が抑制できることなどから、療養環境として優位と考えている。▼また近隣に市役所本庁舎があることから、行政との連携を密に行うことがで

き▼病院建設に伴う大規模な道路改良が不要であることから▼付帯工事の費用を抑えることができることなど▼他の地域に比べて有利にあるものと考えている。

ロ 病院事業債（事業費）の申請が国のヒアリングにおいて了承されたことは大きな前進である。新病院の開院を見通した今後の取り組みについて伺いたい。

答 本年度は用地取得に向けた交渉、基本設計及び実施設計、測量調査、地質調査、開発行為申請、農地転用等の手続きに着手したいと考えている。令和3年度に新病院の本体工事に着手し令和4年度末の開院を目指したい。

問② 高齢者の交通事故対策と交通弱者対策について。

イ 国は「安全サポート車」に限り高年齢者の運転を認めようとしている。「加速抑制装置装備」への補助を提案したい。

答 交通事故対策として有効だと考えるので国の動向を注視したい。ロ 乗合タクシーを全市で運行し、免許証を返納しても安心して生活できる交通弱者対策、地域社会づくりについて伺いたい。

答 「乗合タクシー」の拡充については利用状況や住民のニーズを踏まえたうえで検討したい。



創生会 濱砂 磐

問① 西都市の資産管理についてその活用と処分計画を伺いたい。

答 西都市施設等総合管理計画にて試算し利用状況を把握し用途廃止を含め検討を行い、効率的・効果的な維持管理に努めたい。

問② 西都商業高校跡地の有効活用について伺いたい。

答 現在も学生が在籍し教育活動が行われており、敷地所有の県から譲渡等協議がなく、市としては活用の見解を示す事は出来ない。

問③ 銀鏡地区の学校職員住宅空き家を市営住宅等に活用できないのか伺いたい。

答 以前から相談を受け協議を行っており、用途変更を含め効率的有効活用の検討に努めたい。

問④ 道路の整備管理と被災時の不通対策について伺いたい。

答 整備計画は、住民の要望等を収集し、関係者へ周知に努めたい。管理延長が約840kmあり、定期的な巡回に加え市民との連携に努

めたい。先の台風や落石等で幹線道路が不通となり孤立集落等が発生した。関係機関と連携し道路網を整備し利便性の向上に努めたい。

問⑤ 市民生活に欠かせない「関係人口」の考え方について伺いたい。

答 地区外在住者の環境保全や伝統芸能等への協力や貢献は欠かさない。地域づくり協議会交付金等の支援の在り方を見直し検討に努めたい。

問⑥ 一般家庭剪定枝等処分の負担軽減について伺いたい。

答 適正に管理された庭樹は街の景観形成に貢献しているが、各家庭の労力が大きい事も承知している。地球温暖化を考慮し、その適正処分には協力をお願いしている。

問⑦ 所有者不明の遊休農地・放棄山林対策について伺いたい。

答 農地等の利用適正化の中で定期的に巡回し、発生防止・解消に努め、地域の担い手への利用権設定等の協議を行っている。放棄山林は、森林環境譲与税活用などの国県事業の活用にも努めたい。いづれにしても所有者・経営体と連携した意向調査等に取り組み適正な管理に努めたい。

議案審議結果

第2回臨時会（5月10日）及び第3回定例会（6月14日～7月3日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

第3回定例会（6月）

- 第54号 西都市手数料条例及び西都市火災予防条例の一部改正について（不正競争防止法等の一部を改正する法律による工業標準化法の一部改正に伴い、所要の整備を行うもの）

- 第55号 西都市火災予防条例の一部改正について（住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、所要の整備を行うもの）

- 第56号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について（災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、利率、償還方法等について、所要の整備を行うもの）
- 第57号 西都市国民健康保険税条例の一部改正について（税率等の

見直しに伴い、所要の整備を行うもの）

- 第58号 西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について（家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の整備を行うもの）

予算関係

第3回定例会（6月）

- 第59号 令和元年度西都市一般会計予算補正（第2号）について（ふるさと納税ワンストップ特例制度のデータ未送信者に対する見舞金として、総務費に1386万円を増額補正しようとするもの）

- 第60号 令和元年度西都市一般会計予算補正（第3号）について（総務費、民生費など、総額2億6839万1千円を増額補正しようとするもの）

- 第61号 令和元年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について（国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額1096万1千円を増額補正しようとするもの）

- 第65号 令和元年度西都市一般

会計予算補正（第4号）について（小中学校教育用・校務用コンピュータ等リース事業に対し債務負担行為を設定しようとするもの）

- 第66号 令和元年度西都市一般会計予算補正（第5号）について（企業立地促進条例に基づくオフィス改装補助金及び企業立地補助金に対し、債務負担行為を設定しようとするもの）

の）

その他

第2回臨時会（5月）

- 第49号 専決処分の承認を求めることについて（地方税法等の一部改正に伴う西都市市税条例等の一部改正）

- 第50号 専決処分の承認を求めることについて（地方税法施行令の一部改正に伴う西都市国民健康保険条例の一部改正）

- 第51号 専決処分の承認を求めることについて（介護保険法施行令の一部改正に伴う西都市介護保険条例の一部改正）

- 第52号 専決処分の承認を求めることについて（特別交付税等の決定等に伴う西都市一般会計予算補正）

- 第53号 固定資産評価員の選任について

那須 康朗 氏（新任）

第3回定例会（6月）

- 第62号 小型動力ポンプ付積載車購入に伴う売買契約の締結について（指名競争入札に付した小型動力ポンプ付積載車の購入について、売買契約を締結しようとするもの）

- 第63号 和解及び損害賠償の額を定めることについて（市道で発生した転倒事故に関する和解及び損害賠償の額について、議会の議決を求めもの）

- 第64号 平成30年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について（未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めもの）

議員提出議案

第3回定例会（6月）

- 第1号 西都市議会委員会条例の一部改正について（議会運営委員会の委員定数変更に伴い、条例の一部を改正しようとするもの）

- 第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について（地方財政の充実・強化を求めため意見書を提出しようとするもの）

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案3件及び請願1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第55号 西都市火災予防条例の一部改正についてであります。

本案は、住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、関係する条例について所要の整備を行おうとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第60号 令和元年度西都市一般会計予算補正(第3号)について本委員会に付託をされた部分についてであります。

歳入について主なものは、地方交付税3287万円、県支出金4963万円などの増額予算が計上されて

おります。

歳出について主なものは、総務費にコミュニティ助成事業補助金として、250万円の予算などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第62号 小型動力ポンプ積載車購入に伴う売買契約の締結についてであります。

本案は、指名競争入札に付した小型動力ポンプ積載車の購入について、売買契約を締結しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願書であります。

本請願については、地方財政の充実・強化を図るため、「社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保

をはかること」など6項目の対策を国に求めるものであります。

採決の結果「願意妥当」と認め、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案6件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第56号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正についてであります。

本案は、災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、利率、償還方法等について、所要の整備を行おうとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第57号 西都市国民健康保険税条例の一部改正についてであります。

本案は、税率等の見直しに伴い、所要の整備を行おうとするもので

あります。

本案については、種々質疑の後、ある委員より、「今回の条例改正等により、令和元年度の国保税は、医療分、後期支援分、介護分の合計で、被保険者一人当たり12万2476円、一世帯当たり20万1313円となる。これは、前年度と比較すると、一人当たりでは1万31円、一世帯当たりでは1万7071円の増額改正である。負担軽減対策として、繰越金の一部が充てられているが、基金からの繰り入れはされておらず、負担軽減対策は極めて不十分であり、高い国保税を求める条例改正には、市民の命と健康・暮らしを守る立場から賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第58号 西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。

本案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の整備を行おうとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第60号 令和元年度西都市一般会計予算補正(第3号)について、本委員会に付託された部分についてであります。

歳出として主なものでは、民生費に、消費税・地方消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するためのプレミアム付商品券事業交付金などの予算が計上されておりま

す。 本案については、現地調査を行い、種々質疑の後、ある委員より、「地域医療対策費において、不動産鑑定評価業務委託料が158万1千円提案されている。これは、新病院建設予定地を確定するための予算であり賛成したい。市として予定地を決定し起債の申請が国の了承を受けたことは大きな前進である。それだけに、行政、医療センター、医師会が連携し、早急に用地を確定し、新病院建設に向け、あらゆる努力を強く要望しておきたい」との賛成討論がなされ、

別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第61号 令和元年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額1096万1千円を増額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、ある委員より、「本案については、議案第57号との関連で賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第65号 令和元年度西都市一般会計予算補正(第4号)についてであります。

本案は、小学校及び中学校教育用・校務用コンピュータ等リース事業に対し、債務負担行為を設定しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、議案第60号及び議案第65号の審査の過程においてある委員より、「今議会では、債務負担行為が追加議案として当委員会に付託された。本来なら当初予算に計上すべきものであり、また当委員会審査の中でも新たに再編交付金による予防接種に充てていた予算が申請ミスで残りの交付金の返還に至ることの報告があった。今後、なぜ追加の議案として上程することになったのか、また申請のミスがあったのか等、それぞれの担当課はしっかりと慎重に精査し、このようなミスが二度と起こらないように気を付けていただきたい」との意見・要望がなされました。



尾八重公民館建設予定地の
現地調査を行う文教厚生常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました議案3件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第60号 令和元年度西都市一般会計予算補正(第3号)について、本委員会に付託された部分についてであります。

歳出として主なものでは、まず、総務費のうち開発推進費に、企業立地促進条例奨励金等交付金が計上されています。

次に、農林水産業費のうち農業費に、畜産競争力強化整備事業補助金が計上されています。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程においてある委員より「議案の上程にあたっては、所管課において、協議・検証・確認をしっかりと行っていただき、すみやかな議案の上程を強く要望したい」との意見・要望がなされま

産業建設常任委員会

した。

次に、議案第63号 和解及び損害賠償の額を定めることについてであります。

本案は、平成30年6月16日に、西都市小野崎1丁目63番地先市道で発生した、自転車の転倒事故に關する和解及び損害賠償の額について、議会の議決を求めようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第64号 平成30年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてであります。

本案は、未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

請 査 結 果 願

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願書

陳 情 者

西都市役所職員労働組合
執行委員長 兒玉 尚也

審 査 結 果

採択

可 決 さ れ た 意 見 書

地方財政の充実・強化を求める意見書

(提出先)

内閣総理大臣・内閣官房長官

総務大臣・財務大臣・経済産業大臣

内閣府特命担当大臣

(地方創生・規制改革担当)

内閣府特命担当大臣

(経済財政政策担当)

臨時会が5月10日に開かれ、新しい議会構成が決まりましたのでご紹介します。
(◎委員長 ○副委員長 敬称略)

副議長 荒川 昭英



特別委員会

▼新田原基地対策調査特別委員会

◎井上 司 岩切 一夫

○兼松 道男 北岡 四郎

村上 修乗 井上 久昭

濱砂 磐

▼救急医療対策調査特別委員会

◎狩野 保夫 橋口登志郎

○曾我部貴博 荒川 敏満

山地 将生 太田 寛文

米良 弥

常任委員会

▼総務常任委員会

濱砂 磐

▼文教厚生常任委員会

荒川 昭英

◆編集後記◆

平成という時代が幕を降ろし、令和の時代が始まった。この新元号に立ち会えたことは貴重な体験で大変身の引き締まる思いがする。

新しい時代が幕を開けたと思えば、この短期間、全国各地で災害に見舞われている。思えば、昨年の漢字に選ばれたのは「災」であった。

令和となった今、平成の時代に起こった災害を忘れず、あの時に得た防災の教訓を生かして、何時起り得るか分からない災害に対応できるように議員として行動していきたい。

そして、今年の漢字が安全安心の「安」となればと願いたい。

— 議会報編集委員会 —

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 荒川 敏満 |
| 副委員長 | 山地 将生 |
| 委員 | 村上 修乗 |
| 〃 | 濱砂 磐 |
| 〃 | 曾我部 貴博 |
| 〃 | 太田 寛文 |
| 〃 | 田爪 淑子 |
| 〃 | 北岡 四郎 |
| 〃 | 狩野 保夫 |